

## 手足口病

### 原因

主な病原ウイルスはコクサッキー A16 あるいはエンテロ 71 です。まれにコクサッキー A4, 5, 6, 8, 9, 10, B, エコーなどのウイルスにより発病します。

### 感染経路

ウイルスは口腔内、便中に排泄され、飛沫感染、経口感染を起こします。

### 潜伏期間

3～6日

### 好発年齢

1～4歳

### 症状

口腔粘膜や舌、歯肉、唇の内側に発疹ができます。この発疹はやがて破れて潰瘍となり、熱いものや酸っぱいものなどを食べるとしみて痛がります。口の中と同時か少し遅れて、手のひら、足の裏、膝、臀部に米粒大～小豆大の水疱ができます。約 20 %の例に発熱をみることがありますが、長くても3日程度で治まります。

### 合併症

#### ①無菌性髄膜炎:

発熱・不機嫌・嘔吐などの症状がある場合は、髄膜炎の疑いがありますので受診して下さい。髄液検査で診断します。この髄膜炎は、予後良好で普通は後遺症を残しません。特にエンテロ 71 は髄膜炎を起こしやすいウイルスです。

#### ②その他:

まれに小脳失調症、局所性脳炎、ポリオ様弛緩性麻痺、中耳炎、心筋炎などが報告されています。

### 治療と看護

自然治癒するウイルス疾患で、症状に応じてお薬が出ます。口内痛があるため柑橘系の果物やジュースなど酸っぱいものは避け、喉ごしのよいものを与えて下さい。食後は湯冷ましなどを飲ませて、口の中を清潔に保ってあげましょう。水分の補給に気をつけて下さい。

### 登校（園）停止について

隔離の必要はありません。平成5年に日本小児科学会より次の見解が出ています。「咽頭から1～2週間、便から3～5週間と、ウイルス排泄期間が長く、登校停止で感染を予防することは困難、不顕性感染も多く症状も軽微のため、他への感染のみを理由にして登校（園）を停止する積極的意味はない。」

(2002.8)